

TOYAMA ていーちゃーず' カレッジ 第2回 開催レポート

面接対策講座

講師 大野 貴広 様

著書 KADOKAKAWA『倫理、政治・経済 早わかり一問一答』等

経歴 学習塾、専門学校、大学受験予備校、公務員試験・教員採用試験対策予備校等の勤務を経て1997年に総合教育センター早稲田プロGRESSを個人事業として設立し、代表に就任。教員採用試験模試作問、公務員試験模試作問、受験雑誌の執筆、企業向け適性試験・採用試験の作成などに携わりながら、教員向け研修セミナー講師や、各大学において、就職試験対策の各講座の講師、就職相談員などの業務に携わる。

採用面接での「対応力」と、「コミュニケーション能力」の大切さ。



講座は前半と後半の二部構成。前半では個別面接を、後半では集団面接・集団討論を扱い、一方的な講義ではなく、参加者自身が考え、言葉にし、発表するスタイルで進められました。後半は、「地域と学校の連携」という課題で集団面接・集団討論が行われました。課題は「地域と学校の連携」。参加者は小グループに分かれ、地域と学校の双方にメリットのある取り組みを話し合います。地域の方による学習支援、登下校の見守り、地域資源を活用した校外学習、富山ならではの歴史や伝統を学ぶ授業など、具体的な案が多く出ました。発表後、大野講師は、討論をわかりやすくまとめる方法として、導入・意見の交換・分類・結論という段階を踏む大切さを解説しました。また、議論が止まったときの工夫として、「過去・現在・未来で考える」「他地域の例を挙げる」「発言が少ない人に話を振る」といった対応方法も紹介しました。

富山で教員になる意義を見つめ直す

最後に、大野講師は、富山の教育に

携わることの意義を改めて強調しました。「富山は全国の見本になろうとする県です。ここで教員になるということは、日本の教育をより良くする一員になることでもあります」と語り、セミナーを締めくくりました。

午後からは、高沢由美氏（よしとも コミュニケーションズ代表取締役）による「コミュニケーション能力アップ講座」が行われました。テーマは「魅力的な教員になるために必要な視点」。

冒頭、高沢氏からは「魅力とは何か？」という問いが投げかけられました。魅力は話し方や表情、声、姿勢、考え方など複数の要素によって構成されるが、「よい印象を与えるコミュニケーションには一定の傾向と再現性がある」と説明しました。



講義は、5つのテーマに沿って進行。座学だけではなく、各テーマごとにペアワークや実践形式を取り入れ、参加者自身が体感しながら進められました。声のスピードや抑揚、視線の置き方、聞き手としての相づちなど、些細な要素の違いで印象が変わることを確認しました。

高沢氏は、「コミュニケーション能力は採用試験だけでなく、教員として働く際の生徒・同僚・保護者との関係構築にも直結する」と強調しました。ワークを通じて、実践的な視点で「伝える力」「聞く力」を整理し直す機会となりました。

参加者の意識を実践に向けての内容となり、今後の準備や現場でのコミュニケーションに活かせる学びの時間となりました。

*

次回（第3回・12月27日）は「個人／集団面接体験」「情報交換会」「教員採用選考検査について」を予定しています。みなさんの参加をお待ちしています！

富山って こんな所！



富山県は、南北にのびる日本列島の中心、本州の中央北部に位置しています。三方を北アルプス立山連峰など急峻な山岳地帯に囲まれ、深い湾を抱くように大きく平野が広がる、まとまりのよい地形をしています。植生自然比率は本州一。美しく豊かな自然環境に恵まれ、四季の移り変わりが鮮明で、多種多様な動植物が見られます。天然の巨大ダムともいえる山々からは、1年を通じて豊かできれいな水が生まれています。水力発電、各種用水など多目的に利用されており、暮らしや産業を支える重要な資源です。

位置	北緯 36 度 16 分～ 36 度 59 分 東経 136 度 46 分～ 137 度 46 分
面積	4,247.54km ²
人口	99 万 5,955 人 (R6.10.1)



1クラスあたりの人数が少ない

義務標準法によって1クラスの児童・生徒数の標準は小学校が35人、中学校が40人と定められていますが、富山県の1クラス平均は小学校20.5人、中学校27.4人と、標準を下回っています。小中学校ともに、半数以上が小規模校となっており、大人の目が届きやすい環境です。
(学校基本調査 令和6年度速報値)

社会で学ぶ「14歳の挑戦」

富山県内の中学2年生が、5日間学校を離れ、地域の人々の指導・援助を受けながら、職場体験活動やボランティア活動等に取り組めます。規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、生涯にわたってたくましく生き抜く力を身に付けます。



「とやま科学オリンピック」を開催



子どもたちの科学に対する関心を高めるとともに、科学的才能や論理的な思考力、問題解決能力など、子どもたちが持っている様々な力や可能性を伸ばす機会として「とやま科学オリンピック」（中・高部門）を開催しています。

「高校生とやま県議会」

高校生とやま県議会は、高校生の主体的な政治参加意識や地域社会へ参画する意識の向上を図ることを目的に平成28年度より実施しています。

「さあ、富山で先生になろう」富山県教育委員会パンフレットより引用